

# 農繁期 レポート 令和4年 9月号

## バードライフファーム

オーナー	(一般)バードライフ・インターナショナル東京
水田面積	25.0アール
保証量	玄米1125kg
形態品種	特別栽培コシヒカリ



## 生産者 米風土鳥取

後半の台風2回で例年になく稲が倒れましたが品質に影響は殆どなく、被害もなく終わり鳥取は良かったと思います。ただ事件があり、8頭のイノシシファミリーに我らの田んぼが気に入られたようで毎晩遊びに来ていました。その度に電気柵はもちろんのことワイヤーメッシュ、ひらひらテープなど日々工夫をこらし変化させてイノシシと対決していましたが無事終了しました。

### 9月の作業内容

#### 1. 稲刈り

刈取適期は出穂後の積算温度だけでなく穂の色など状態をみて判断します。適期は非常に短く、その期間に雨が降るとコンバインが田んぼに入れず適期を逃すこともあります。そのため翌日が雨予報だと日没後もライトを照らして作業する農家さんもいます。



#### 2. 脱穀後の籾

昔の手刈りとは違い現代はコンバインで刈り取り～脱穀を行います。コンバインの容量がいっぱいになったら横づけした軽トラックに「籾」を一気に流し込み、すぐに乾燥機へ投入します。ここまでが一連の作業なので刈取後に放置は基本しません。



#### 3. 乾燥

収穫直後のお米は水分量が多いので乾燥機に入れ調整します。この工程で品質は良くも悪くもなり、稲刈りよりも気を使う作業です。急激に乾燥させると粒が割れてしまったりするのですが、現在の乾燥機は改良もされているためある程度機械任せで良い状態に仕上がります。



#### 4. 等級検査

乾燥後にもみすり機に入れ、もみ殻を取り除き製品となる「玄米」に仕上げます。不良米や小石は色選機で除き、30kg袋に詰め込みしてから検査を受けます。また、もみ殻も堆肥作りにとても大切な物として重要な副産物ですので捨てることはしません。

